

新型シャーリングの導入による生産性向上と収益力強化



実施事業の概要と成果

本事業においてシャーリングを導入し、切断加工に要する作業時間の短縮と作業品質の向上を図ることができた。改善ポイントは、作業に伴うセッティング時間を短縮できたこと、加工後の手直し作業が不要になったことである。

このように切断加工の生産性が向上したことでボトルネックが解消され、生産工程全体のリードタイムも短縮でき、収益力の強化に繋がった。

導入前の課題

既存のシャーリングによる切断加工は、作業員の経験や技術に頼った属人化した作業になっていた。加えて手作業による修正が必要であったり、廃棄ロスも発生していた。切断加工は作業に要する時間が長く、生産工程全体の中でボトルネックとなっていた。

シャーリング導入前における当社の課題は、作業の標準化、廃棄ロスの削減、ボトルネックの改善であった。

取り組みと成果

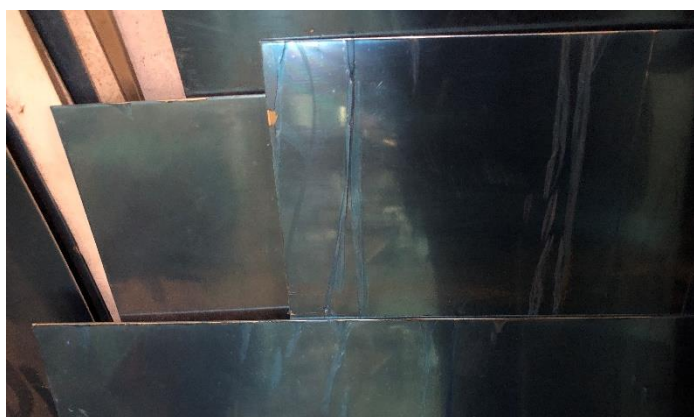
作業が効率化した結果、これまで切断加工には2名の作業員が必要であったが、1名でできるようになった。作業が標準化したことで過度に熟練工に依存する体制から脱却し、担当割の制限が緩和された。切断箇所のズレの発生がなくなったことで、廃棄ロスが削減され、高品質な加工を安定してできるようになった。切断加工に要する平均作業時間は7分23秒から51秒にまで短縮でき、ボトルネックが解消された。



シャーリング「KOMATSU_SHS6」による加工作業



デジタル操作盤



きれいに切断された加工面



外観

補助事業後の展開

ボトルネックが解消されて生産工程全体の生産性が向上したことで、これまで受け入れきれずに断っていた案件を受託できる余力が生まれた。これにより取引先との取引量を増やすことができ、顧客との信頼関係を強化することができた。

また余力がないときは当社が作業を外注することもあったが、生産性向上により内製化を図ることができ、収益性の改善に繋がった。



代表取締役 比嘉 将治

ニューノーマル時代(新しい生活様式)における取組

製造現場では安全のためにお互いに大声で声がけをしてきたが、コロナ禍によりそれを憚る風潮がある。マスク着用により表情がみえにくくなっていることと相まって安全意識の希薄化が懸念された。そこで当社では、伝達が中心であった朝礼を従業員が積極的に参加するように変革し、安全に対する意識づけの強化を図っている。

会社概要

事業者名：有限会社豊政建設工業

代表者：代表取締役 比嘉 将治

住所：沖縄県中頭郡西原町字小那覇1042-1

資本金：1,000万円

従業員数：9人

電話番号：098-945-5868

FAX番号：098-945-8701

設立年月日：昭和63年4月1日

業種：金属製品製造業

URL：<http://hoseikensetsukogyo.hp.gogo.jp/pc/>

